Genie®
A TEREX COMPANY

操作説明書

GS-2668 DC
GS-3268 DC

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

AUS
Australia

メンテナンス
情報付き

Fifth Edition
First Printing
Part No. 133556JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 3
一般的な安全 5
作業員の安全 9
作業場の安全 10
説明 17
操作パネル 18
点検 22
操作手順 34
輸送およびリフトの手順 40
メンテナンス 43
仕様 45

お問合せ先：

インターネット：http://www.genielift.com
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 1999 Genie Industries

第 5 版： 第 1 刷 2010 年 1 月

「Genie」は米国およびその他の国における
Genie Industries の登録商標です。
「GS」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ：

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に**従う**。

2 **本マニュアルなど、装置に付属して**いるマニュアルの指示を読み、理解して従う。

3 **作業場における一般的な安全管理**を行う。

4 **訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータのみが、**事情に通じ知識が豊富な従業員の指示を受けながら機械を操作する。

本マニュアルで明らかでない点、または追加するべき点がある場合は、ご連絡ください。

インターネット：www.genielift.com

電子メール：techpub@genieind.com

危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

Genie では、識別しやすいよう、下記のようなマーク、色分け、および警告用語を使用しています。



安全警報マーク：ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

⚠ 危 険
赤
回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警 告
オレンジ
回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

⚠ 要注意
黄
回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注 意
青
回避しないと、物的損害が生じる可能性のある危険な状態を示します。

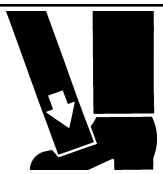
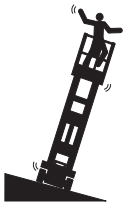
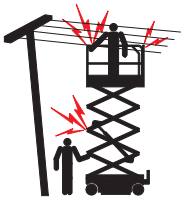
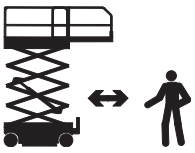
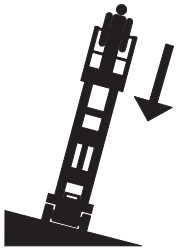
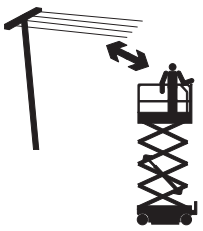
用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

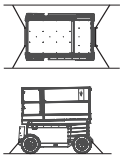
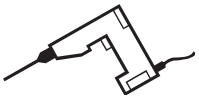
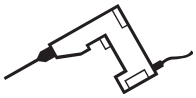
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

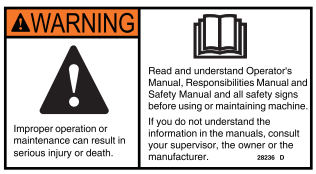
 操作説明書を読んでください	 サービスマニュアルを読んでください	 挟まる危険	 挟まる危険	 衝突の危険
 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 感電の危険
 感電の危険	 爆発の危険	 火災の危険	 やけどの危険	 皮膚への噴射の危険
 安全アームをセットしてください	 可動部に近づかないでください	 アウトリガーやタイヤに近づかないでください	 平らな地面に機械を移動してください	 シャーシ台を閉じてください
 作業台を下げてください	 アウトリガーで水平にできない場所に設置しないでください	 必要な間隔を維持してください	 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	 紙類を使用して漏れを調べてください

シンボルと危険を表すイラストの定義

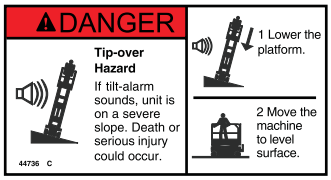
 輪止めをかましてください	 ブレーキを解除してください	 固定用具	 安全帯の取り付け場所	 禁煙
 車輪荷重	 輸送図	 側方圧	 挟まる危険	 下降中は手摺りを握ってください
 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力	 最大積載荷重量		

一般的な安全

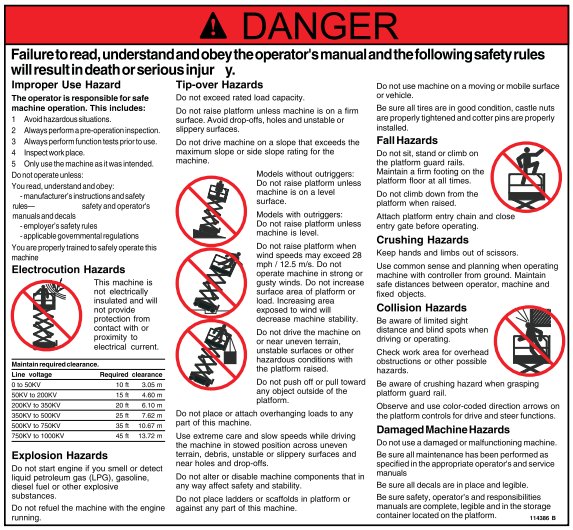
28236



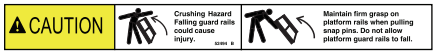
44736

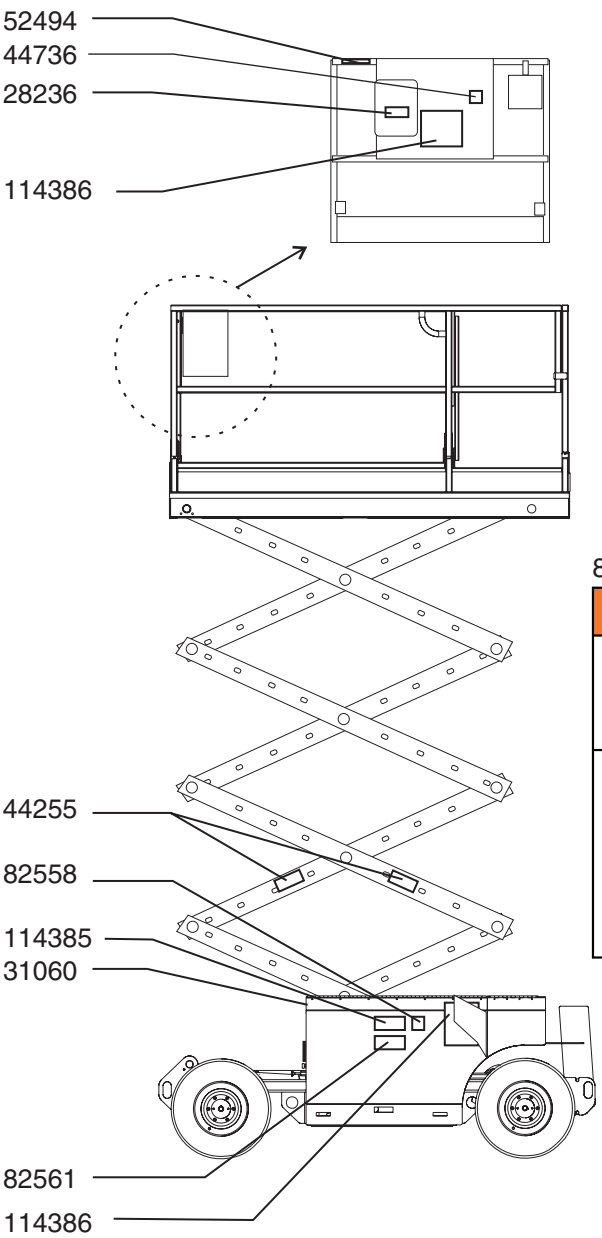


114386

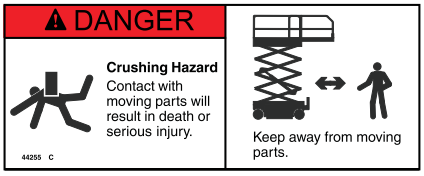


52494

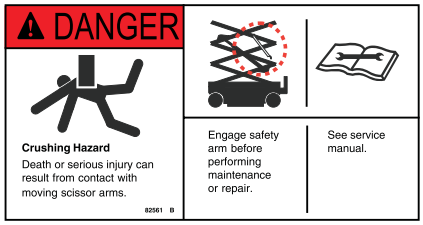




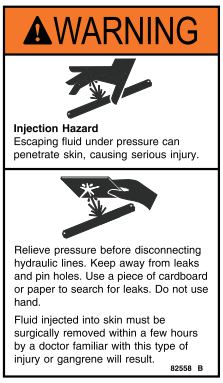
44255



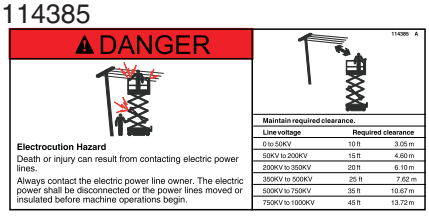
82561



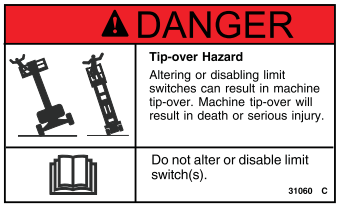
82558



114385



31060



一般的な安全

31508

DANGER

Electrocution / Fire Hazard
Death or serious injury will result from use of improper or damaged cord and outlet.

Connect charger to a grounded AC 3-wire electrical outlet only.

Before each use, inspect for damaged cord, cables and wires. Replace damaged items before operating.

31508 D

133566

DANGER

Tip-over hazard.
Failure to replace batteries with proper weight batteries will result in death or serious injury.

= 65 lbs / 30 kg

Batteries are used as counterweight and are critical to machine stability. Each battery must weigh 65 lbs / 30 kg.

133566 A

97712

DANGER

Collision Hazard
Failure to secure machine before releasing brakes will result in death or serious injury.

1 Make sure machine is on a firm, level surface or secured.
2 Chock wheels.
3 Release brakes.

INSTRUCTIONS

Brake Release Operation
1 Chock wheels to prevent machine from rolling.
2 Be sure winch line is properly secured to drive chassis tie points and path is clear of all obstructions.
3 Push in black brake release knob to open brake valve.
4 Pump red brake release pump knob.

After machine is loaded:
1 Chock wheels to prevent machine from rolling.
2 Press drive function select button. Press and hold function enable switch on control handle. Move control handle off center to reset brakes.

97712 B

114258

DANGER

Burn Hazard
Fuel and fumes can explode and burn.

STOP

No smoking. No flame. Stop engine.

114258 A

28175

WARNING

Compartment access is restricted.
Contact with components under any cover may result in serious injury.

28175 H

Only trained maintenance personnel should access compartments. Access by operator is only advised when performing Pre-operation Inspection. All compartments must remain closed and secured during operation.

44255

DANGER

Crushing Hazard
Contact with moving parts will result in death or serious injury.

44255 C

Keep away from moving parts.

82561

DANGER

Crushing Hazard
Death or serious injury can result from contact with moving scissor arms.

82561 B

Engage safety arm before performing maintenance or repair.

See service manual.

31788

DANGER

Explosion / Burn Hazard
Ignition of explosive gases or contact with corrosive acid will cause death, burns or blindness

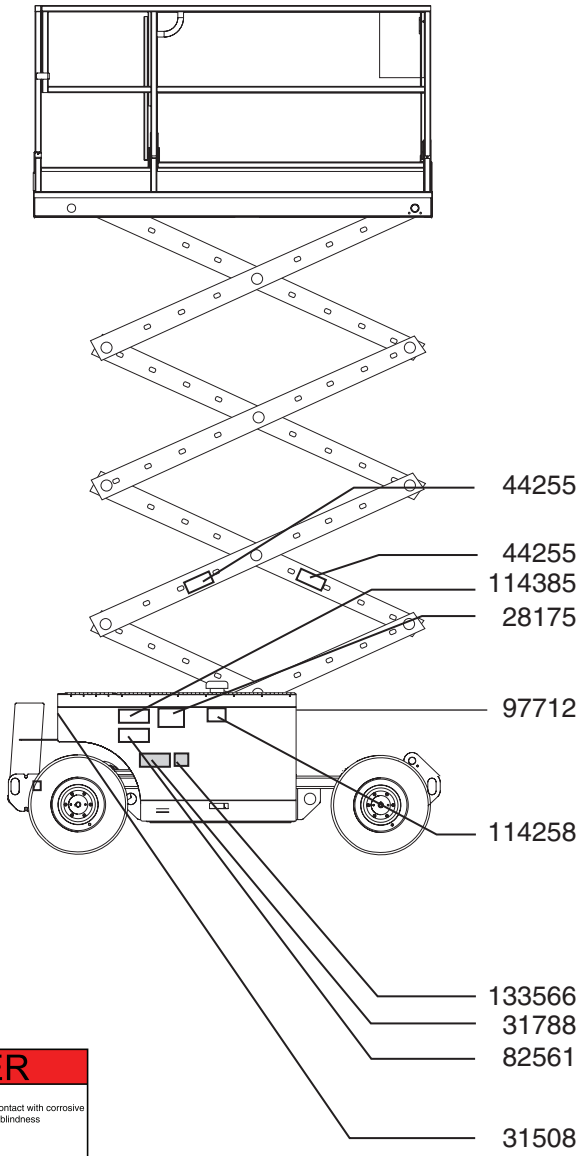
Keep all open flames and sparks away. Wear personal protective equipment, including face shield, gloves and long sleeve shirt.

READ MANUALS
Read all manuals prior to operation.

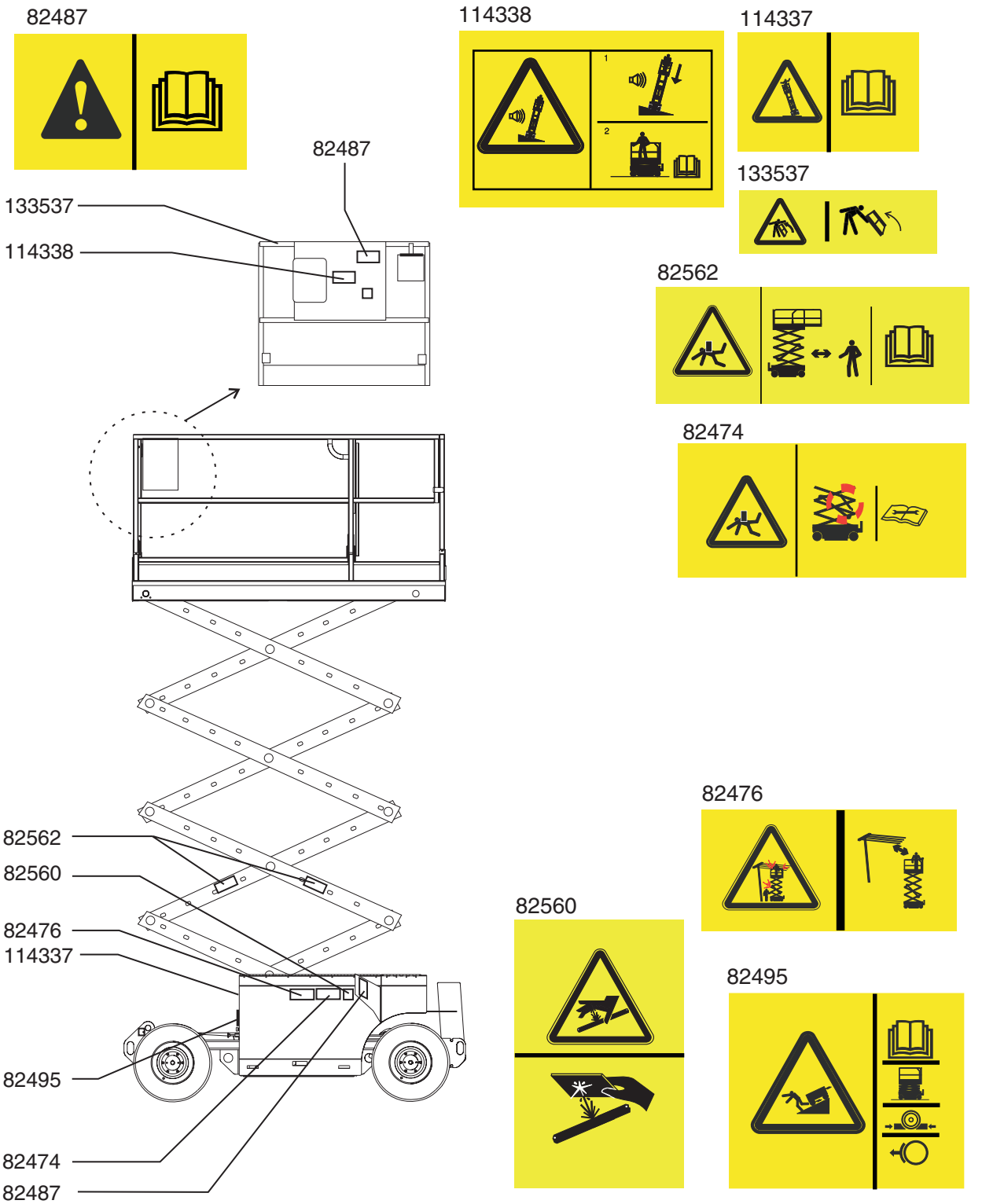
DO NOT OPERATE equipment if you do not understand the information in the manuals.

Consult your supervisor, the owner or the manufacturer.

31788C



一般的な安全

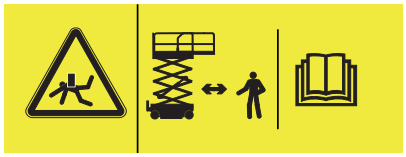

82487
82487
133537
114338
82562
82560
82476
114337
82495
82474
82487
114338
114337
133537
82562
82474
82476
82560
82495

一般的な安全

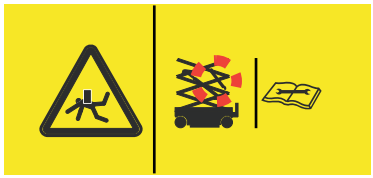
82476



82562



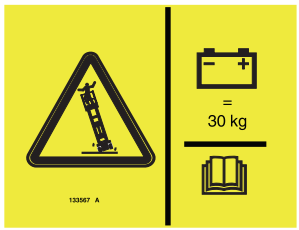
82474

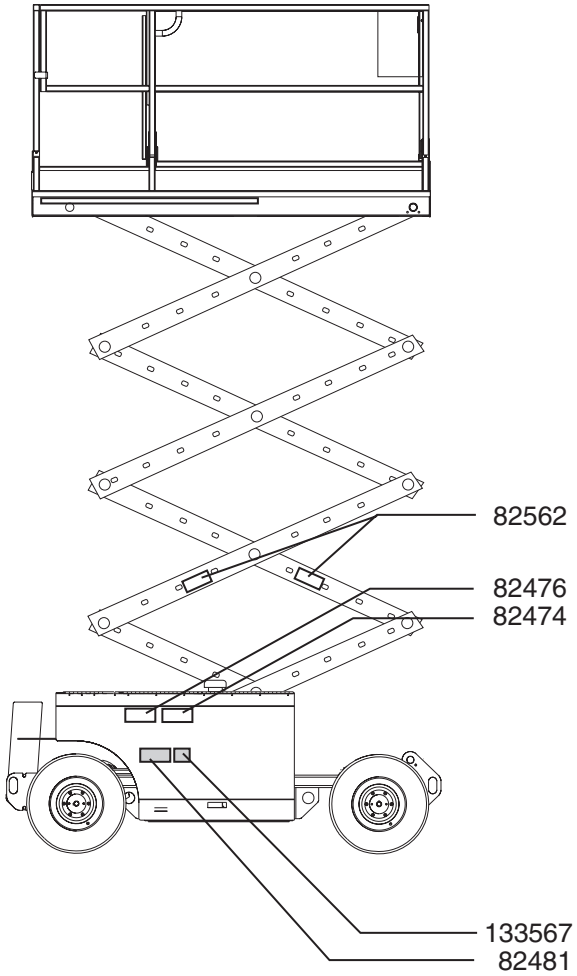


82481



133567





作業員の落下防止

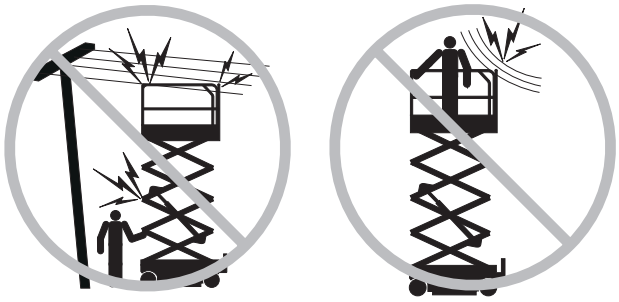
この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、製品使用説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されてお らず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

線間電圧	必要な距離
0 ～ 50KV	3.05 m
50 ～ 200KV	4.60 m
200 ～ 350KV	6.10 m
350 ～ 500KV	7.62 m
500 ～ 750KV	10.67 m
750 ～ 1000KV	13.72 m

作業台の動きおよび電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長時の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載重量 - GS-2668 DC	
作業台収納時	567 kg
作業台延長時 - 作業台のみ	431 kg
作業台延長時 - 延長台のみ	136 kg
最大定員 - ANSI および CSA	4
最大定員 - オーストラリア	
野外使用	4
屋内使用のみ	4



567 kg　延長台のみ 136 kg　作業台のみ 431 kg

最大積載重量 - GS-3268 DC	
作業台収納時	454 kg
作業台延長時 - 作業台のみ	318 kg
作業台延長時 - 延長台のみ	136 kg
最大定員 - ANSI および CSA	4
最大定員 - オーストラリア	
野外使用	2
屋内使用のみ	4



454 kg　延長台のみ 136 kg　作業台のみ 318 kg

作業場の安全

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面上にある場合にシャーシおよび作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動します。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台を上げたままの状態で時速 0.8 km 以上で走行しないでください。

平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

GS-2668 DC	
ANSI & CSA - 4 名	890 N
オーストラリア - 屋内使用のみ - 4 名	400 N
オーストラリア - 屋外使用のみ - 4 名	400 N
GS-3268 DC	
ANSI & CSA - 4 名	890 N
オーストラリア - 屋内使用のみ - 4 名	400 N
オーストラリア - 屋外使用のみ - 2 名	400 N



作業場の安全

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーは釣合いおもりとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 30 kg です。

風速が秒速 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、止めピンが適切に設置されていることを確認してください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。

作業場の安全

⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。勾配の定格値は、機械が収納状態の場合に適用されます。

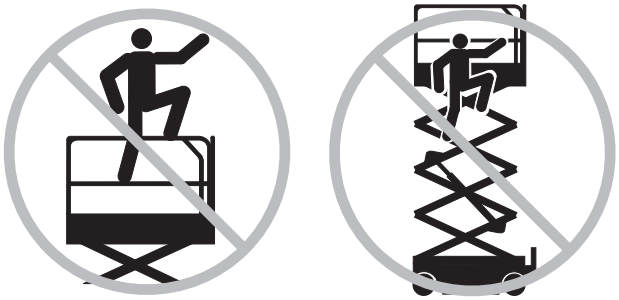
最大勾配の定格値、収納状態	
GS-2668 DC	30% (17°)
GS-3268 DC	25% (14°)
最大定格勾配、収納状態	30% (17°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備 (PFPE) を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。

作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

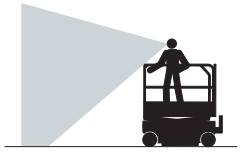
作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

ゲートが開いている場合は、ゲートを閉じてください。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは、機械を操作しないでください。

作業場の安全

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見て、使用してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものを考慮に入れ、走行速度を制限してください。

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 部品の損傷の危険

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

作業場の安全

⚠ 爆発と火災の危険

危険な場所、可燃性の高い場所、あるいは爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

⚠ 挟まる危険

手や腕をシザーズに近づけないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

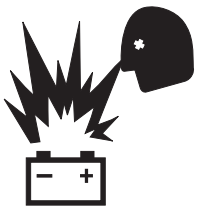
レール ピンを取り外すときは、作業台の手摺りをしっかりと握ってください。作業台の手摺りを下げないでください。

作業台の下または、安全アームがないシザー リンク内で作業しないでください。

作業場の安全

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。



充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。



バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V より高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーは釣合いおもりとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 30 kg です。

持ち上げ時の危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

使用後のロックアウト

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

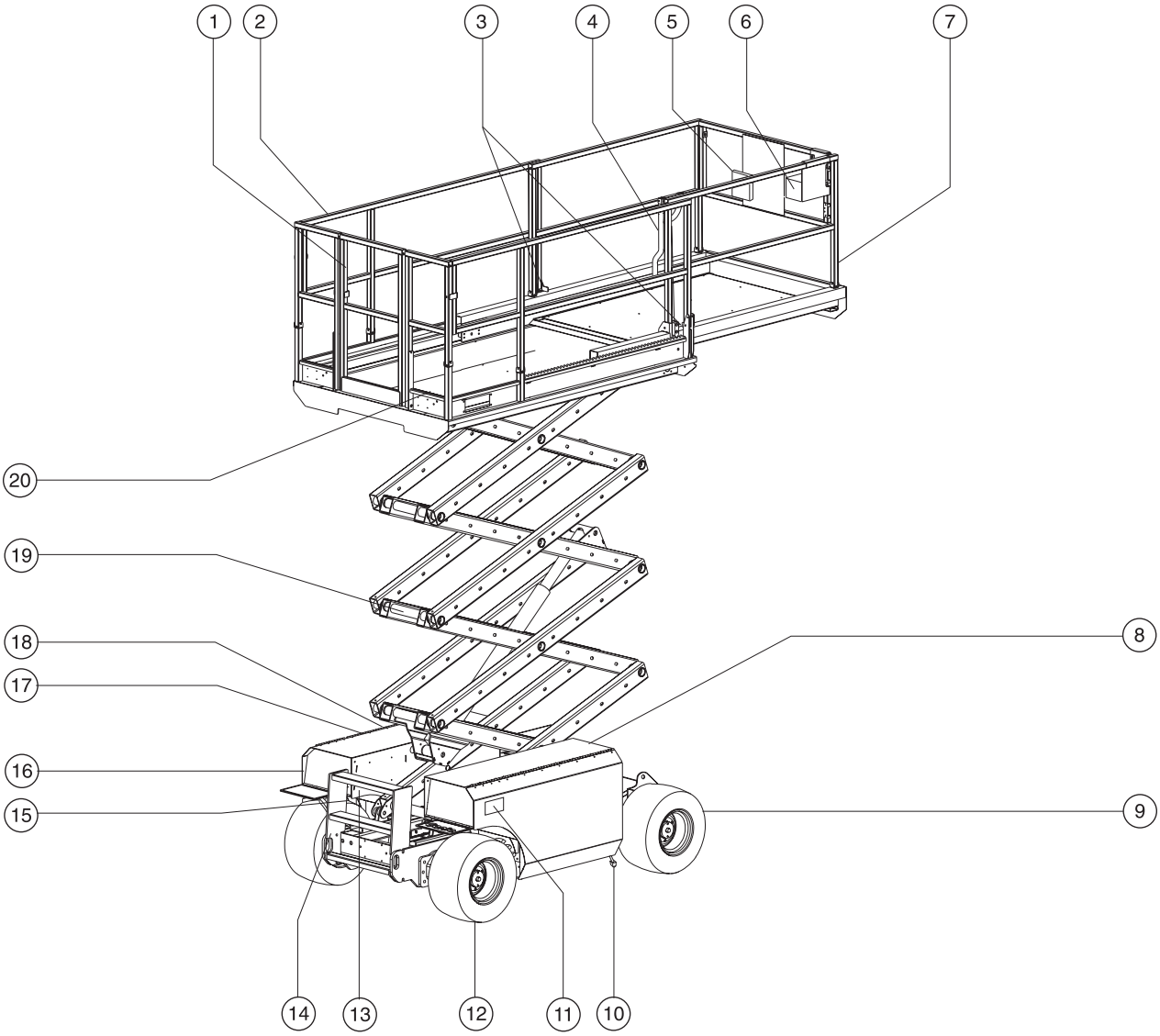
2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 輪止めをかまします。

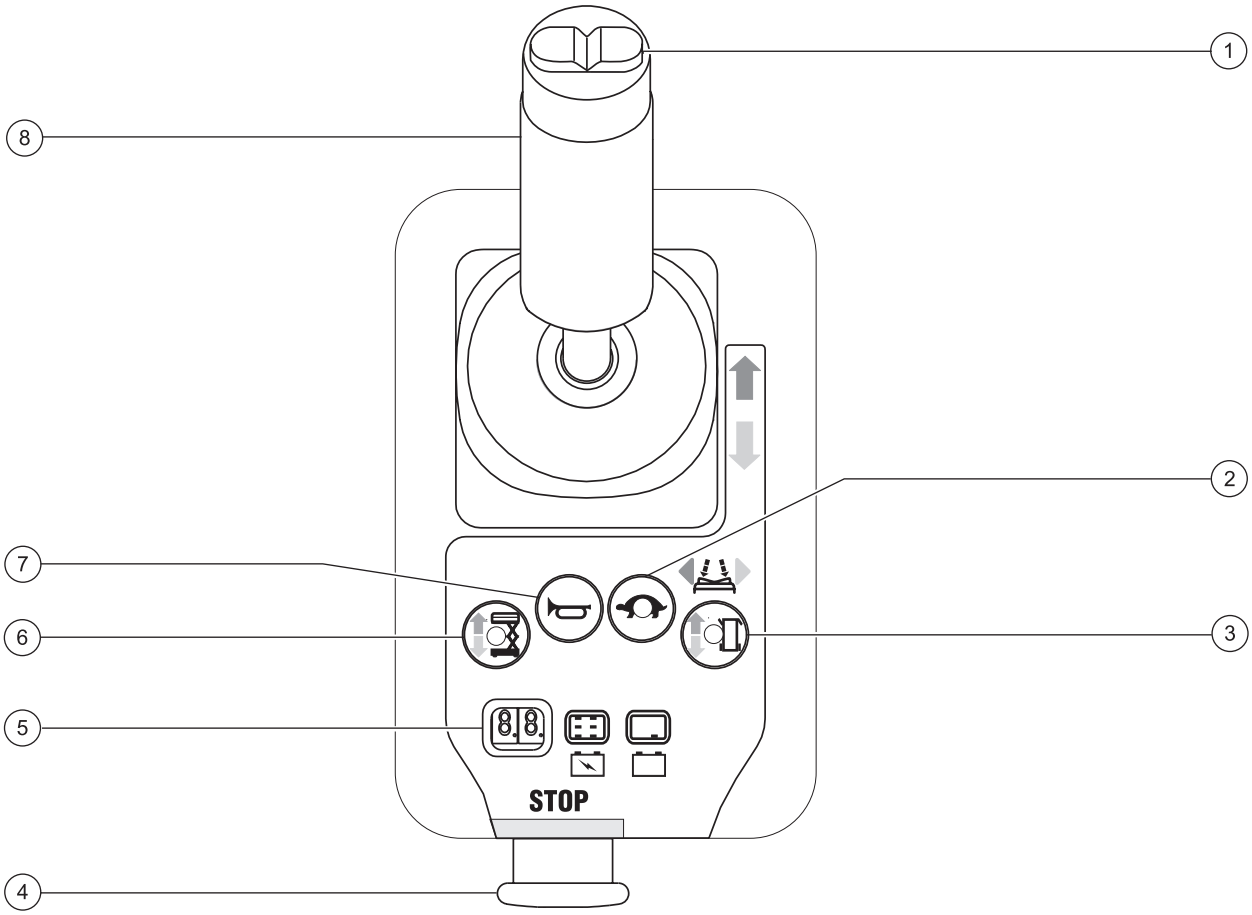
5 バッテリーを充電します。

説明



1 作業台出入口ゲート
2 作業台手摺り
3 安全帯固定場所
4 作業台延長部ロックハンドル
5 マニュアル保管場所
6 作業台操作パネル
7 作業台延長部
8 バッテリー側面カバー
9 操舵輪
10 作業台ピグテールへの電力
11 充電器ピグテールおよびバッテリー充電器への電力（カバー下）
12 非操舵側タイヤ
13 傾斜アラーム（カバー下）
14 出入口はしご/輸送の荷締め
15 ブレーキ解除ポンプノブ、およびブレーキ解除ノブ
16 手動下降および LED 診断計測値の機能を搭載する地上操作パネル
17 地上操作パネル側面カバー
18 作動油量表示ランプ（カバー下）
19 安全アーム
20 最大積載量表示ランプ（搭載されている場合）
21 GFCI コンセント

操作パネル



作業台操作パネル

1 ステアリング機能用サムロッカースイッチ
2 走行速度ボタン
3 走行機能選択ボタン
4 赤色非常停止ボタン
5 LED
6 リフト機能選択ボタン
7 ホーンボタン
8 リフト・走行機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

操作パネル

作業台操作パネル

1 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

サムロッカースイッチをいずれかの方向に押して、ステアリング機能を作動させます。

2 走行速度ボタン

このボタンを押して、低速または高速走行を作動させます。

3 走行機能選択ボタン



このボタンを押して、走行機能を作動させます。

4 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

5 LED

診断計測値、バッテリー充電表示器および作業台過負荷表示ランプ

6 リフト機能選択ボタン



このボタンを押して、リフト機能を作動させます。

7 ホーンボタン

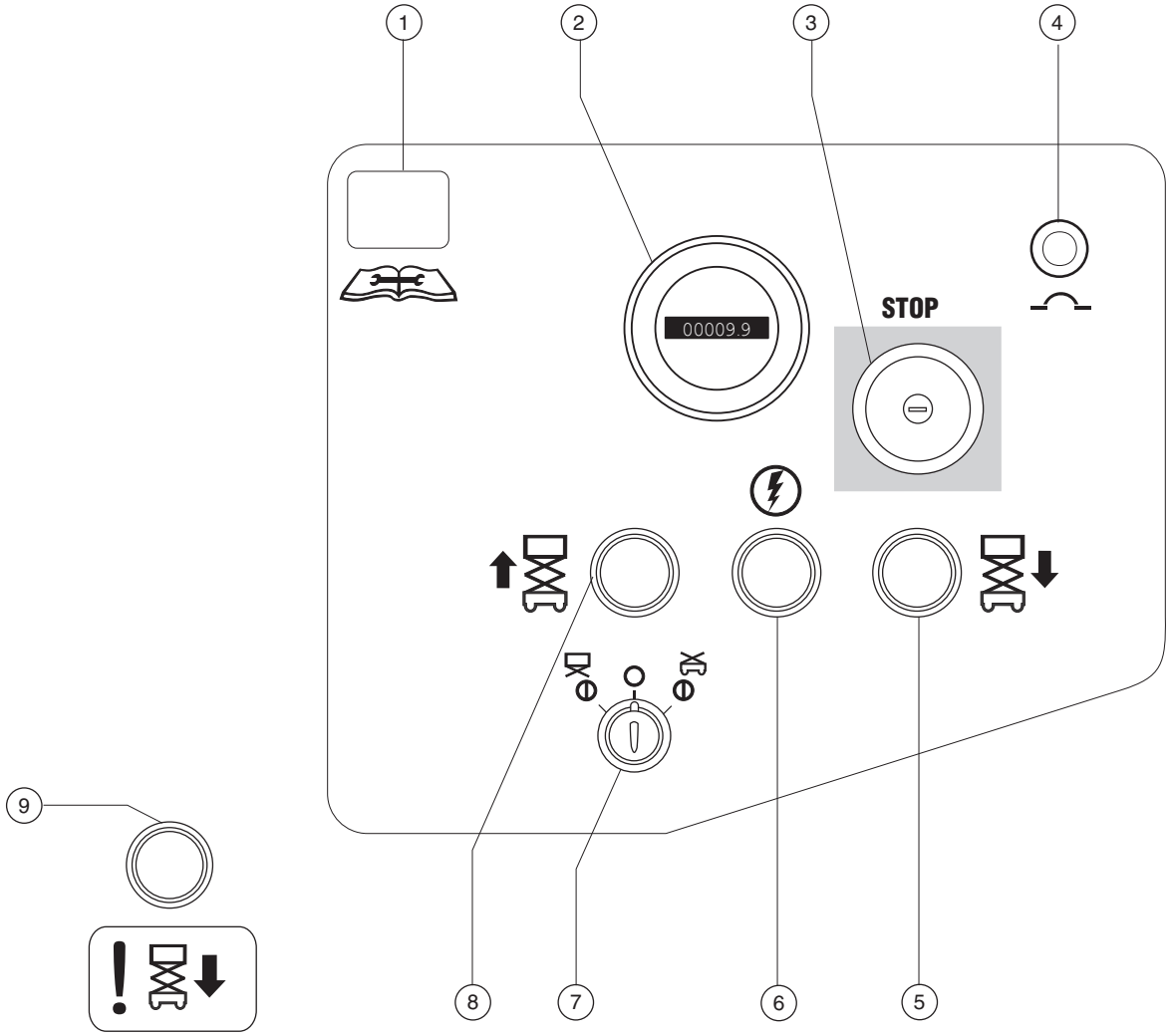
ホーン ボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ホーン ボタンを離すと、ホーンが止まります。

8 リフト・走行機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

リフト機能：コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、作業台が上がります。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、作業台が下がります。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能：コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方法へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方法へ機械が動きます。

操作パネル



地上操作パネル

1 LED 診断計測値
2 時間計
3 赤色非常停止ボタン
4 操作回路用 7A 回路ブレーカー
5 作業台下降ボタン
6 機能作動スイッチ
7 作業台/オフ/地上操作選択キースイッチ
8 作業台上昇ボタン
9 緊急下降ボタン

操作パネル

地上操作パネル

1 LED 診断計測値

2 時間計

機械が使用された時間数を示します。

3 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して オフの位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

4 操作回路用 7A 回路ブレーカー

5 作業台下降ボタン

このボタンを押すと、作業台が下降します。

6 機能作動スイッチ

このボタンを押して、リフト機能を作動させます。

7 作業台/オフ/地上操作選択キースイッチ

キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチをオフの位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、作業台操作が作動します。

8 作業台上昇ボタン

このボタンを押すと、作業台が上昇します。

9 緊急下降ボタン

このボタンを押すと、作業台が下降します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が、損傷していないか、間違って取り付けられていないか、紛失している部品がないか、および不正に改造されていないかをチェックします。

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ユニット、タンク、ホース、接続金具、シリンダー、マニフォールド
- ❏ バッテリー パックと電源の接続
- ❏ 走行モーター
- ❏ 磨耗板
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ リミットスイッチ、アラームとホーン
- ❏ 作業台過負荷コンポーネント
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口ゲート
- ❏ ビーコンとアラーム（搭載する場合）
- ❏ ブレーキ解除部品
- ❏ 安全アーム
- ❏ 作業台延長部
- ❏ シザーズ ピンと固定ファスナー
- ❏ 作業台操作パネルジョイスティック
- ❏ 変換機（搭載する場合）

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷
- ❏ 過度のさび、腐食または酸化

- ❏ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切な締め具やピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- ❏ 側面レールが設置され、スナップピンとボルトが締まっている。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本事項

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 バッテリーパックが接続されていることを確認します。

地上操作パネル

3 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

5 作業台操作パネルにある診断 LED の計測値を確認します。

⊙ 結果：LED は右の図のように表示されているはずです。



非常停止のテスト

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

7 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

上昇/下降機能のテスト

下降アラームおよび作動アラームは、シャーシで毎分 60 回のビープ音を鳴らします。機械が水平でないことを警告するアラームは、シャーシと作業台で毎分 180 回のビープ音を発します。

8 機能作動ボタンを押さないでください。作業台上昇機能を作動させます。



⊙ 結果：機能は何も作動しません。

9 機能作動ボタンを押したままの状態にし、作業台上昇機能を作動させます。

⊙ 結果：作業台が上昇します。

10 機能作動ボタンを押したままの状態にし、作業台下降機能を作動させます。

⊙ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

緊急下降のテスト

11 機能作動ボタンを押したままの状態にし、上昇機能を作動させます。作業台を 60 cm 上昇させます。



12 緊急下降ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果：作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。

13 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

点検

作業台操作

非常停止のテスト

14 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

警報のテスト

15 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

16 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

機能作動スイッチのテスト

17 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押さないでください。

18 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

上昇/下降機能のテスト



19 リフト機能選択ボタンを押します。

20 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

21 コントロール ハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が上昇します。ポットホール ガードが位置につきます。

22 コントロール ハンドルを離します。

⊙ 結果：作業台の上昇が止まります。

23 機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。



24 走行機能選択スイッチを押します。

25 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

26 コントロール ハンドルの上部にあるロッカー スイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが操作パネル上の青い三角が示す方向に回ります。

27 サムロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが操作パネル上の黄色い三角が示す方向に回ります。

点検

走行とブレーキのテスト

28 機能作動スイッチを押したままにします。

29 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。

30 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

傾斜センサーの操作テスト

注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

31 作業台を完全に下げます。

32 片側の前後のタイヤが 10 cm のブロックまたは留めぐつわの上に乗るように走行します。

33 作業台を地上約 2.4 m まで上げます。

⊙ 結果：作業台の上昇が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。

34 走行選択ボタンを押します。

35 走行コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：走行機能はどちらの方向にも作動しません。

36 作業台を下げ、機械がブロックから離れるよう走行します。

点検

走行制限速度のテスト

37 リフト機能選択ボタンを押します。

38 機能作動スイッチを押したままにします。作業台を地上約 2.4 m まで上げます。

39 走行機能選択スイッチを押します。

40 機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 22 cm を越えてはいけません。

作業台を上げたままの状態の走行速度が秒速 22 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他、起こりうる危険な状態

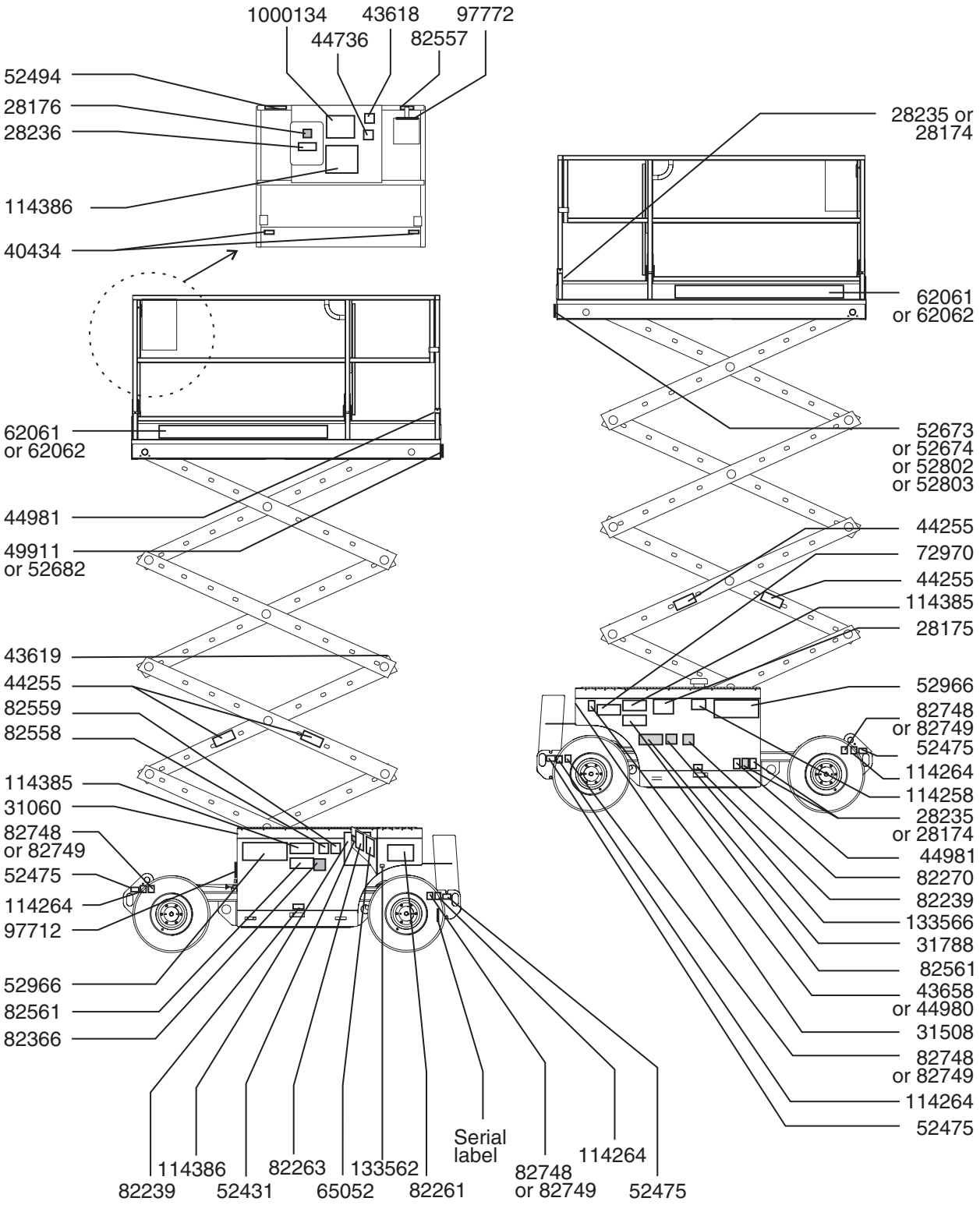
点検

注意喚起語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
28174	Label - Power to Platform, 230V	3
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Label - Missing Manuals	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	3
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
31060	Danger - Do Not Alter Limit Switch	1
31508	Danger - Power to Charger	1
31788	Danger - Battery Safety	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	2
43618	Label - Directional Arrows	1
43619	Label - Safety Arm	1
43658	Label - Power to Charger - 230V	1
44255	Danger - Crushing Hazard	4
44736	Danger - Tilt Alarm	1
44980	Label - Power to Charger - 115V	1
44981	Label - Air Line to Platform	2
49911	Notice - Max Capacity 1250 lbs / 567 kg, GS-2668 DC	1
52431	Label - Ground Control Panel	1
52475	Label - Transport Tie-down	4
52494	Caution - Crushing Hazard, Rails	1
52673	Instructions - Max Side Force, GS-2668 DC, ANSI & CSA	1
52674	Instructions - Max Side Force, GS-2668 DC, Australia	1
52682	Instructions - Max Capacity, GS-3268 DC	1
52802	Notice - Max Side Force, GS-3268 DC, ANSI & CSA	1
52803	Notice - Max Side Force, GS-3268 DC, Australia	1
52966	Cosmetic - 4 x 2	2
65052	Label - Fault Codes	1
62061	Cosmetic - Genie GS-2668 DC	2
62062	Cosmetic - Genie GS-3268 DC	2
72970	Instructions - Charger Instructions	1
82239	Label - Latch	2
82261	Ground Control Panel	1
82263	Instructions - Operating Instructions, Ground	1
82270	Instructions - Battery Connection Diagram	1
82366	Label - Chevron Rykon	1
82557	Label - Platform Controls Location	1
82558	Warning - Skin Injection Hazard	1
82559	Instructions - Annual Inspection	1
82561	Danger - Crushing Hazard	2
82748	Label - Wheel Load, GS-2668 DC	4
82749	Label - Wheel Load, GS-3268 DC	4
97712	Danger - Brake Release Safety & Operating Instructions	1
97772	Platform Control Panel	1
114258	Label - No Smoking	1
114264	Label - Tire Specifications	4
114385	Danger - Electrocution Hazard	2
114386	Danger - General Safety Rules	2
133562	Label - Emergency Lowering	1
133566	Danger - Tip-over Hazard	1
1000134	Instructions - Operating Instructions, Platform	1

点検


1000134
43618
97772
44736
82557
52494
28176
28236
114386
40434
62061
or 62062
44981
49911
or 52682
43619
44255
82559
82558
114385
31060
82748
or 82749
52475
114264
97712
52966
82561
82366
114386
82239
82263
52431
133562
65052
82261
Serial
label
82748
or 82749
114264
52475
28235 or
28174
62061
or 62062
52673
or 52674
or 52802
or 52803
44255
72970
44255
114385
28175
52966
82748
or 82749
52475
114264
114258
28235
or 28174
44981
82270
82239
133566
31788
82561
43658
or 44980
31508
82748
or 82749
114264
52475

点検

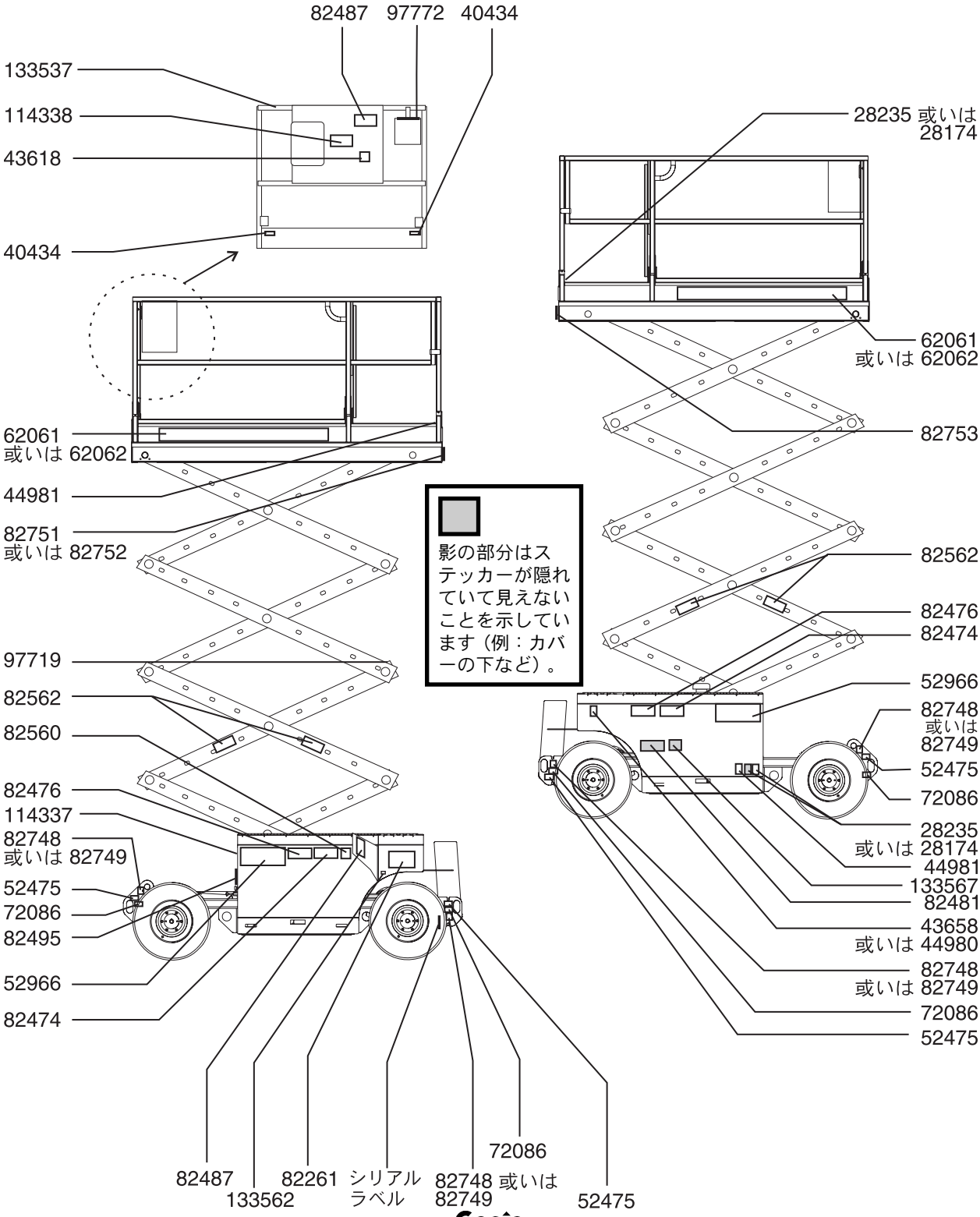
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	説明	数量
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	3
43618	ラベル - 方向矢印	1
43658	ラベル - 充電器への電力、230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力、115V	1
44981	ラベル - 作業台への空気管（オプション）	2
52475	ラベル - 輸送用の荷締め	4
52966	外装 - 4 x 2	2
62061	外装 - Genie GS-2668 DC	2
62062	外装 - Genie GS-3268 DC	2
72086	ラベル - 吊り金具	4
82261	地上操作パネル	1
82473	ラベル - コンパートメントへのアクセス	2
82474	ラベル - 安全輪止め	2
82476	ラベル - 感電の危険	2
82481	ラベル - バッテリーの安全	1
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82495	ラベル - ブレーキ解除の安全	1
82560	ラベル - 皮膚への噴射の危険	1
82562	ラベル - 挟まる危険	4

品番	説明	数量
82748	ラベル - 輪荷重、GS-2668 DC	4
82749	ラベル - 輪荷重、GS-3268 DC	4
82753	危険 - 最大外圧	1
82751	ラベル - 最大積載重量、GS-2668 DC	1
82752	ラベル - 最大積載重量、GS-3268 DC	1
97719	ラベル - 安全アーム	1
97772	作業台操作パネル	1
114337	ラベル - 転倒の危険	1
114338	ラベル - 転倒の危険	1
133537	ラベル - 挟まる危険	1
133562	ラベル - 緊急下降	1
133567	ラベル - 転倒の危険	1

点検


82487
97772
40434
133537
114338
43618
40434
28235 或いは
28174
62061
或いは 62062
82753
62061
或いは 62062
44981
82751
或いは 82752
影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。
82562
82476
82474
97719
82562
82560
52966
82748
或いは
82749
52475
72086
82476
114337
82748
或いは 82749
52475
72086
82495
28235
或いは 28174
44981
133567
82481
43658
或いは 44980
82748
或いは 82749
72086
52475
52966
82474
82487
133562
82261
シリアル
ラベル
72086
82748 或いは
82749
52475

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

緊急下降

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 緊急下降ボタンを押したままの状態にします。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける

1 機能作動ボタンを押したままにします。

2 作業台の上昇機能または下降機能を作動します。

走行と操舵の機能は地上操作からは使用できません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける



1 リフト機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロール ハンドルを操作パネルのマークに従って動かします。

操舵



1 走行機能選択ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。

操作手順

走行

1 機能作動スイッチを押したままにします。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作パネルと作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上昇した状態では走行スピードが制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。バッテリー充電指示ランプが点灯すると、機械の走行速度は制限されます。

走行速度の減速

走行コントロールでは、2つの異なる走行速度モードで操作することができます。走行速度ボタンのランプが点灯している場合は、走行速度モードが低速になっています。走行速度ボタンのランプが消えている場合は、走行速度モードが高速になっています。



走行速度ボタンを押して、任意の走行速度を選択します。

操作手順

傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、
収納状態：
GS-2668 DC: 30% (17°)
GS-3268 DC: 25% (14°)



最大定格横勾配、収納状態：
30% (17°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

走行速度ボタンを押して、走行速度モードを高速にします。

傾斜勾配を確認するには以下を行います。

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

水準器

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

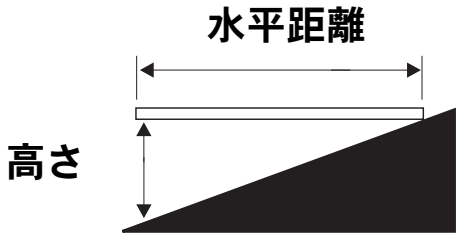
傾斜面の上に木片を置きます。

下り坂の下がった方の端で、木片の端に合わせてその上に水準器を置いた後、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ（水平距離）で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



水平距離 = 3.6 m

高さ = 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 = 8.3%

傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、ウィンチなどを使って機械を傾斜面の上や下に移動させる必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

エラー表示計測値



LED 診断計測値が LL などの故障コードを表示している場合は、赤色非常停止ボタンを押し、その後ボタンを引いてシステムをリセットしてください。

作業台の延長と収納（手動での作業台延長）

1 作業台の延長ロックハンドルを水平に持ち上げます。

2 作業台の延長ロックハンドルを押し、作業台を目的の位置まで延長します。

作業台を延長している時は、作業台の延長部分に立たないでください。

3 作業台延長部ロックハンドルを下げます。

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定物との間には安全のための距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

バッテリーレベル表示器



満タン 低下

作業台のコントローラにある LED 診断計測値を使用して、バッテリーレベルを確認します。

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

使用後の注意

1 安定した水平な地面で、障害物がなく、人や車の往来のない、安全な駐車場所を選びます。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 輪止めをかまします。

5 バッテリーを充電します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

4 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

6 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

7 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送およびリフトの手順



必ず以下に従うこと。

- ☑ Genie Industries は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。
- ☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。
- ☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。シリアルプレートの場所については、点検のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を超える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。定格勾配については、仕様のセクションを参照してください。

ブレーキ解除操作



1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 ブレーキ解除ノブを押してブレーキ弁を開きます。

4 ブレーキ解除ポンプノブを上下に動かしてください。

機械を載せた後は、以下を行います。

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを中央から動かし、ブレーキをリセットします。

Genie GS-2668 DC または Genie GS-3268 DC の牽引は推奨しません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

延長デッキを収縮し、固定します。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

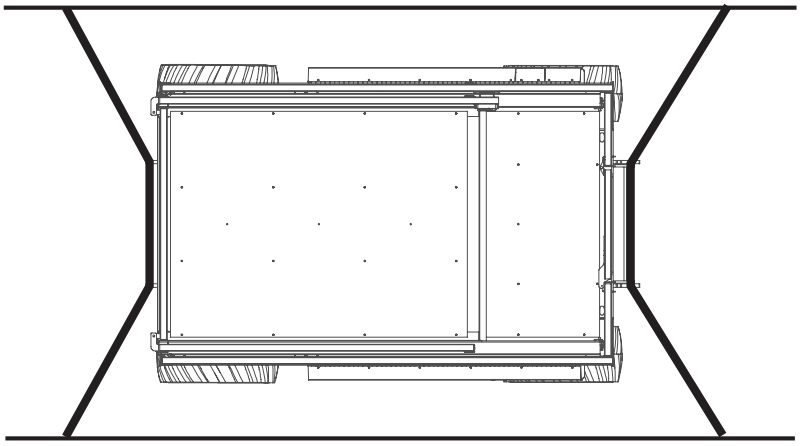
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

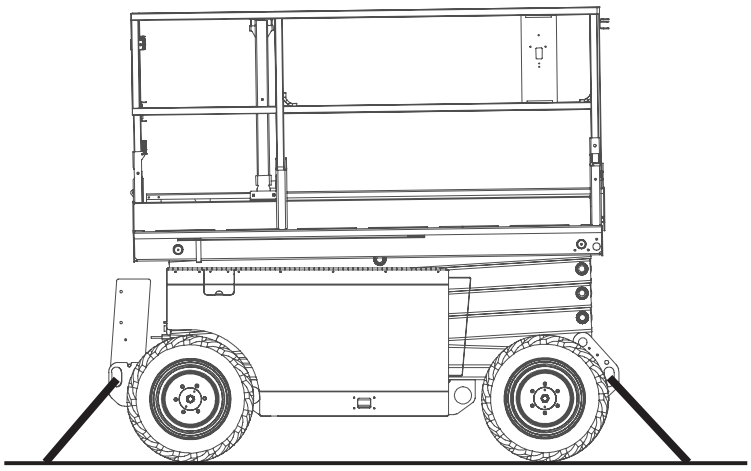
チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 2 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。

手摺りが下方に曲がっている場合は、輸送前にストラップで固定します。





輸送およびリフトの手順

重心	X 軸	Y 軸
GS−2668 DC	87.4 cm	65.5 cm
GS−3268 DC	84.6 cm	69.3 cm

必ず以下に従うこと。

- ☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

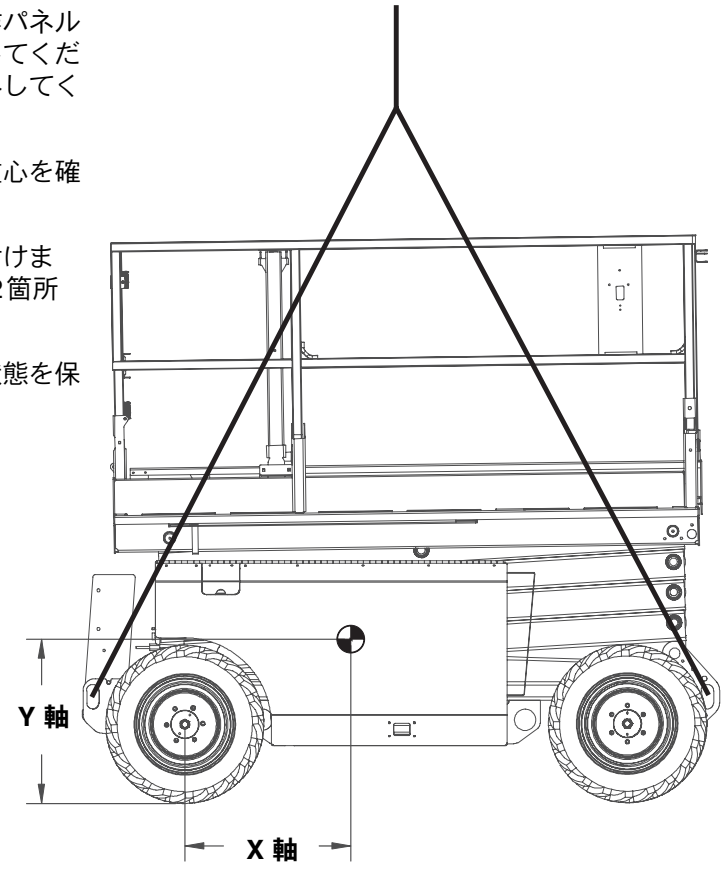
リフトの手順

作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作パネルおよびカバーが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。吊り上げ点は、機械の両端にそれぞれ2箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。



メンテナンス

必ず以下に従うこと。

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

注記：作業台を収納し、エンジンを停止した状態でこの作業を行ってください。

1 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は表示計の上から 5 センチ内にしなければいけません。

2 必要に応じてオイルを追加します。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油のタイプ	Chevron Rando HD に相当

メンテナンス

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。液量が適切でなかったり、ケーブルまたは接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。

注記：密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。
指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。
バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットがしっかりと締められていることを確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

GS-2668 DC	
高さ、操作時最大	9.8 m
高さ、作業台最大	7.9 m
高さ、収納時最大、手摺りを上げた状態	2.3 m
高さ、収納時最大、手摺りを下げた状態	1.7 m
高さ、収納時最大、手摺りなし	1.2 m
高さ、手摺り	1.02 m
幅	1.73 m
長さ、作業台収納時	2.67 m
長さ、作業台延長時	4.2 m
最大積載荷重	567 kg
最大風速	秒速 12.5 m
ホイールベース	1.85 m
旋回半径（外側）	3.7 m
旋回半径（内側）	1.5 m
最低地上高	21 cm
重量	3001 kg
（機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。）	
操作パネル	比例
作業台 AC コンセント	標準
作業台寸法	
作業台奥行き x 幅	2.5 x 1.5 m
作業台延長部長さ	1.5 m

走行速度	
収納時，最大	時速 4.8 km
作業台上昇時、最大	0.8 km/h 12.2 m/54.6 s
最大油圧力（機能）	241.3 バール
タイヤ サイズ	22 x 9 x 360
最大定格勾配、作業台収納時	30% (17°)
最大定格横側勾配、作業台収納時	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。	

床荷重表	
最大輪荷重	1293 kg
タイヤ接地圧	8.08 kg/cm^2 789 kPa
車体使用面積当りの圧力	997 kg/m^2 9.78 kPa
注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。	

仕様

GS-3268 DC	
高さ、操作時最大	11.8 m
高さ、作業台最大	9.8 m
高さ、収納時最大、手摺りを上げた状態	2.6 m
高さ、収納時最大、手摺りを下げた状態	1.8 m
高さ、収納時最大、手摺りなし	1.3 m
高さ、手摺り	1.02 m
幅	1.73 m
長さ、作業台収納時	2.67 m
長さ、作業台延長時	4.2 m
最大積載荷重	454 kg
最大風速	秒速 12.5 m
ホイールベース	1.85 m
旋回半径（外側）	3.7 m
旋回半径（内側）	1.5 m
最低地上高	21 cm
重量	3569 kg
（機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。）	
操作パネル	比例
作業台 AC コンセント	標準
作業台寸法	
作業台奥行き x 幅	2.5 x 1.5 m
作業台延長部長さ	1.5 m

走行速度	
収納時，最大	時速 4.8 km
作業台上昇時、最大	0.8 km/h 12.2 m/54.6 s
最大油圧力（機能）	241.3 バール
タイヤ サイズ	22 x 9 x 360
最大定格勾配、収納状態	25% (14°)
最大定格勾配、収納状態	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。	

床荷重表	
最大輪荷重	1443 kg
タイヤ接地圧	10.32 kg/cm^2 1011 kPa
車体使用面積当りの圧力	1078 kg/m^2 10.57 kPa
注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。	

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイアル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 566

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

代理店: